

【土佐町】 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「個別最適な学び」を実現するためにデジタルドリルを導入・活用しており、「主体的な学び」をより発展させるために他ソフトウェアなどを使用して学びのきっかけを広げ、自身で調べ学んでいくことを推進していく。

「協同的な学び」としてはこれからの情報化社会で必要となる ICT 環境を利用した対話や情報共有などのコミュニケーションを行う上での方法を体験させ学ばせていく必要がある。

2. GIGA 第1期の総括

端末の整備とネットワーク整備を行い1人1人が端末を活用できる体制が整った。また、ネットワーク接続端末の貸し出しなども行うようにし、ネットワーク環境がない家庭で端末を利用した学習の取り組みもできるようになった。だが端末の老朽化や故障などで使用できない端末が出てきており、ICT 機材の管理も煩雑となってしまっている。そのため ICT 環境にかかわる情報の整理が課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 日常的な利活用

活用する環境は整っているが、具体的な活用などの大きな部分の指針がないため、どの学年でどのようなソフトウェアなどを活用して学びをさせていくなどの方針をまとめたものを作成する。そうすることで端末を活用しての日々の学びを推進していく。

ICT 環境を織り交ぜての教育をこれからも進めていくため、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。

(2) 学びの保証

不登校の児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対して端末を利用した学びができるようにする。また、児童生徒1人1人が主体的に学習するときのためにデジタルドリルの継続だけでなく、オンライン学習や他ソフトウェアの導入などで学習の効果を高め充実させていく取り組みを行う。